



表紙：ニホンウナギのふ化の瞬間（撮影：佐藤成美）とレプトセファルス幼生（提供：東京大学 木村伸吾教授）



山梨県富士河口湖町のラベンダー（提供：鈴木宏記）



上からアカウミガメ、ウナギの蒲焼、イセエビ（撮影：佐藤成美）

化学と工業 7

CHEMISTRY & CHEMICAL INDUSTRY

Vol.68-7 July 2015

C O N T E N T S

- 587 **巻頭言** 大学の国際化に思うこと
青山藤詞郎
- 591 **論説** イノベーション政策と国立大学改革
橋本和仁
- 593 **OVERVIEW** どこで生まれて、どこへ向かうのか
旅するウナギの謎をとく

598 **特集** 化学遺産の第6回認定

明治初頭、我々の先人は全くのゼロから近代化学および化学工業をつくり、国を豊かにするために筆舌に尽くせぬ努力を傾注した。この先人の努力と苦勞を形のあるものとして残し、次代の人たちにその内実と価値を深く理解していただき、化学を通じて我が国の将来の更なる発展の一助としたい。第6回化学遺産に認定された5件の背景を説明する。
〔担当：植村・上村〕

- 1 認定化学遺産 29 早稲田大学蔵 宇田川榕菴化学関係資料
東 徹
- 2 認定化学遺産 30 現存する日本最古の工業用高压油脂分解器
(オートクレーブ)
——石けん工業への貢献
向山恒治・岡野知道
- 3 認定化学遺産 31 工業用アルコール産業の発祥
——バイオ燃料であるとともにエチレン原料にもなっていた！
田島慶三
- 4 認定化学遺産 32 近代日本における塗料工業の発祥
—— Pioneer in Paint Industry
金倉頭博
- 5 認定化学遺産 33 日本の戦後復興・高度成長を支えた合成繊維
ナイロンの発祥と足跡
永安直人

613 **Division Topics**

- 1 物理化学 溶液の乾燥で分子を並べる
- 2 錯体化学・有機金属化学
窒素固定酵素ニトロゲナーゼの活性部位は Fe か Mo か？

614 **Gallery**

- 1 第3回プロセス化学国際シンポジウム
——プロセス化学の重要性の再認識
橋本光紀
- 2 RC 活動が起点，“持続可能な社会の構築”へ
——レスポンシブル・ケア委員会

634 **BCSJ 賞 / CL**

- 635 **私の自慢** ホタルに学んだ化学発光
——発光試薬の開発から新たな発光の世界へ
松本正勝

平成 27 年度化工誌編集委員会

委員長：上村大輔 理事：長谷川哲也

委員：石田玉青 / 松村和明 / 鈴木健夫 / 正岡重行 / 武部洋子 / 緒明佑哉 / 桑田繁樹 / 中井英隆 / 須貝 威 / 竜田邦明

幹事委員：多田啓司 / 蒲池利章 / 小倉 賢 / 阿澄玲子 / 重本建生 / 浅野ほかか / 内田さやか / 長谷川美貴 / 佃 達哉

監修：植村 榮 / 岩本振武

★化工誌記事についてのお問合せ E-mail: kakoshi@chemistry.or.jp

デザイン：(株)マツダオフィス

638

委員長の招待席

English Scientific Communication :
Part 7—Before the presentation
Jonathan R. WOODWARD

640

飛翔する若手研究者

- 1 アライン等価体の重合反応
伊藤慎庫
- 2 高分子主鎖のらせん反転を利用した機能性材料開発
長田裕也
- 3 高原子価リンを活用したアザポルフィリン類の光特性制御
古山溪行
- 4 近赤外光を吸収する芳香族性ヘミポルフィラジンの開発
村中厚哉

648

化学会発

化学者コミュニティの良識

—「論説委員会」“第二期”の発足にあたって 論説委員会

651

支部だより

化学の日@山形県 東北支部

沼津高専における「中学生のための化学実験講座」 東海支部

「バグダッド電池」は本当に電池なのか? 近畿支部

654

部会だより

活発な国際交流 コロイドおよび界面化学部会

655

CCI サロン

化学よもやま話 植村 榮

ケミストの趣味 新井和孝

657

編集後記

658

会告(次号予告)

659

お知らせ

行事一覧

講演会・講習会

研究発表会——発表募集

研究発表会——プログラム

683

掲示板

684

求人・求職

次頁

広告索引・広告資料請求用紙 (ご活用下さい)